

**第26回 貧困の連鎖対策研究会 兼
NPO法人「子どもへの学習支援基金」第12回勉強会
議事録**

日時:2020年9月25日(金)午後6時～8時

場所:Zoom

第一部 当法人理事・NPO法人フードバンクTAMA理事長 神山治之 氏 講演

※ 資料あり

2016年6月に設立総会を開き、9月にNPO法人化、4年目に入りました。

プロジェクトの一つとして、夏休み・冬休みの給食がない時期に約10キロの食品（お米やパスタ、缶詰、レトルト食品など）を箱詰めして地元の子どもの対象とした生活貧困家庭に食品を無償提供しています。

企業や一般家庭から食品を募っており、企業からの寄付は以前と比べて社会的貢献度が上がることで、税制優遇があることから増えてきています。

日本は先進国の中でも貧困率が高いものの、見た目にはわからないことが多いです。立ち上げ時は、どこから食品を集めるか、どこに食品を配るか、手探りで活動していましたが、日野市の社会福祉協議会との連携がとれたことで、日野市内のどこに困っている家庭があるかわかるようになり、それをきっかけに町田市や立川市、多摩市へと活動範囲が広がっていきました。現在は、八王子市での活動を頑張っているところです。もちろん活動はボランティア・無償です。

遠方からもわざわざ送料をかけて食品を送ってくださる方がいて、とても助かっています。ただ、新型コロナの影響で4月は寄付の量が増えましたが、その後メーカーも生産調整に入ったため寄付量が減り、在庫数を保持するために営業活動を行う必要があると感じています。また、食品の募集や活動内容を知ってもらうためにホームページは非常に重要で、頻繁に更新するようにしています。

集めた食品をどこにでも配っていい訳ではないので、施設等に寄贈する際には、必ず「確認書」を作っています。昨年は51施設に寄贈し、今年は更に増える見込みです。名前に「TAMA」が入っているとおり、日野市・八王子市・立川市・昭島市・町田市・多摩市・国立市で主に活動しています。社協と連携することで、どこで困っていて、どこに何を配るか、要望に答えられるようになってきました。

食品の仕分けや備蓄している場所としては、豊田駅近くに倉庫を借りています。この賃料は、補助金や助成金等で賄っています。

フードドライブは年2回、定期的に行っています。フードドライブには、多様な食品が集まるため、配れる種類が豊富になります。

フードパントリーは、日野市・日野市社協と連携して行っていて、市のアンケートに答えた人が取りに来ています。行政の窓口につなぐ役割を担っており、アンケートの結果を見ると子どもが多いご家庭での利用が多いように感じます。

現在の問題点としては、フードドライブの在庫が少なくなったことと、ボランティアが使えないため、スタッフの作業量が増えました。また、子ども食堂への提供がで

いたため在庫が余りました。

この活動を始めてみて、地元に関心を持って困っている人たちがいたのかと正直驚きました。私たちが気がついていない、苦勞している人はまだまだいると思うので、そういう人たちが孤立しないよう、どこまでできるかはわかりませんが無理のない範囲でリクエストを聞いて出来ることを考えながら活動が続けていきます。

【Q&Aなど】

① フードバンクや子ども食堂を始めたいと考えているが、どのように始めたのか？

→こういったことに興味を持っている人に（今は中々難しいが）直接対面で趣旨を説明し、賛同してくれた人たちと活動を始めるといい。

② 運営・配達のための人員の確保や費用はどうなっているのか？

→ガソリン代は出しているが、人件費はボランティア、無償である。

地元の高校生や大学生が来てくれている。八王子市では、子ども食堂に補助金出るが、今はコロナで活動できる場所がない。食品や食器を保管する必要があるため、常設の場所が好ましいが難しい。無料で借りられる場所を探している。

大田区の子ども食堂には、小学生の時にそこに来ていた子が高校生になって手伝いに来ている。子ども食堂に来ている子の9割は食べることに困っていないが、残り1割の困っている子を見つけ出す場所になっている。今は新型コロナの影響で子ども食堂ができないので、お弁当を渡している。

③ フードバンク同士の横の連携はどうなっているのか？

→セカンドハーベストジャパンや全国フードバンク推進協議会などがあり、そこに参加することで各地のフードバンクとネットワークを作り、情報交換をしている。

④ 運営費の中で行政からの補助金の割合はどれくらいか？

→ほぼ補助金に頼っていて、毎年片っ端から補助金申請をしている。補助金が出た場合は、必ず使途を報告しなければならず、翌年には持ち越しできない。

第二部 審議事項

1 今年度の本法人の活動について

(1) 5施設に各20万円ずつ提供する

施設等に20万円を提供するため、対外的に説明できるような基準を設ける必要がある。

提供先施設等から提出してもらうための申請書・フォーム（使途を記載してもらう）のひな形を作成する必要がある。

理事数名で必ず提供候補先を訪問し、現場を確認する。

残りの提供候補先は、2750地区・2580地区に広報し、募集する。

候補先①フードバンク TAMA（神山理事）

今年は予算が潤沢なので、知り合いで困っている団体はないか探す。

候補先②気まぐれ八百屋だんだん子ども食堂（富倉理事）

年に2回イベントを行っており、子どもが200名程度集まる。

20万円は、お餅や米など子ども達の手土産代に充てる予定である。

(2)アンケートを土台とした情報共有の場所を作る（高橋理事）

新型コロナの様子次第ではあるが、アンケートで活動していると回答してくれた数クラブに会場に来て活動内容を発表してもらい、聴衆者は Zoom で参加するハイブリッド集会を開きたいと考えている。

(3)経済的に困っている学生を支援する（橋本理事）

数年にわたって支援続ける必要があり、長期的活動になる。

例として、一人に月2万円とした場合、1年間で24万円になる。

これを永続的に続けなくてはならないので、本法人の会員数を増やしていく必要がある。

(4)人を育てる（吉田副理事長）

本法人のホームページを見ると「非認知能力」に重点を置いている。教育は結果が出るまでに時間がかかることを理解した上で、養護施設にいる年長組の子どもを対象に、例えば公文（1科目月額7,500円）で勉強させてみるのはどうか。

今回の例は公文であるが、他の学習塾等も含めて考えたい。

2 理念

活動結果が出てから改めて検討する。

第三者に簡単に説明できる、短い文言にする（例「子供が笑顔で生活できる社会を作る」など）。

●次回勉強会及び理事会の日程

年内は Zoom で行う。

- | | | |
|---------|----------------|------|
| (1) 勉強会 | 10月30日（金）午後6時～ | Zoom |
| | 11月27日（金）午後6時～ | Zoom |
| (2) 理事会 | 10月16日（金）午後6時～ | Zoom |

以上

フードバンクTAMAの活動



神山 治之
NPO法人フードバンクTAMA 理事長

フードバンク TAMA の役割

日本ではまだ食べられるのに廃棄されている食品が、約 620 万トンと云われています（農水省平成 26 年度推計）。その内訳は、約 55%が企業から、45%が家庭から廃棄されています。

一方で、「子どもの 6 人に 1 人が相対的貧困」及び「1 人親家庭の半数が貧困」という現実があります。

私たちフードバンク TAMA は、そうした状況を踏まえ、児童養護施設や子ども食堂等、また、生活困窮家庭に食品を無償提供する活動を展開しています。

特色ある活動

■ 未来を担う子どもたちへの支援を！

児童養護施設や子ども食堂等への食品提供の際には、施設側のニーズ等を伺いながら、顔の見える支援、心のこもった支援を重視しております。

■ 地域に根差したフードバンク活動！

地元の企業や個人、自治体、児童養護施設等、それら三者との絆を構築する地域密着型の活動を何よりも重視します。
地域の問題として、貧困家庭の子どものことを考え支援を図ります。

子ども支援プロジェクト報告

フードバンク TAMA は、子どもに焦点を置いた活動を行う目的に基づき、主にひとり親世帯の子どもたちへの食料支援を行うために、平成 29 年・30 年・令和元年に「夏・冬休みフードバンク子ども支援プロジェクト」を実施しました。

食品のご提供や寄付金をいただきました企業の皆様、また、個人的支援をしていただいた皆様に篤く御礼申し上げます。来年度も引き続き子ども支援プロジェクトを展開していきますので、ご支援をなにとぞよろしくお願いいたします。

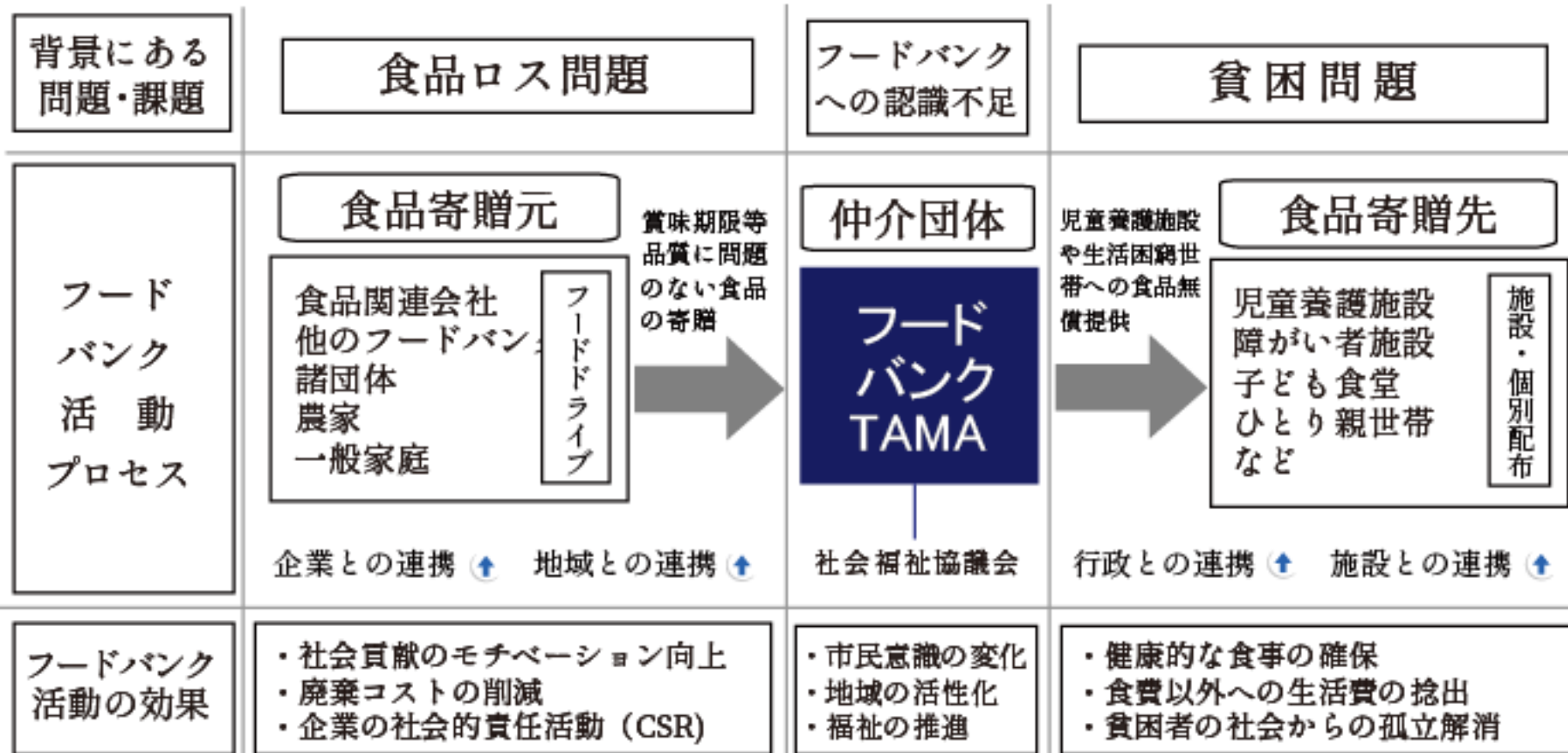


～お母さん方からの声～

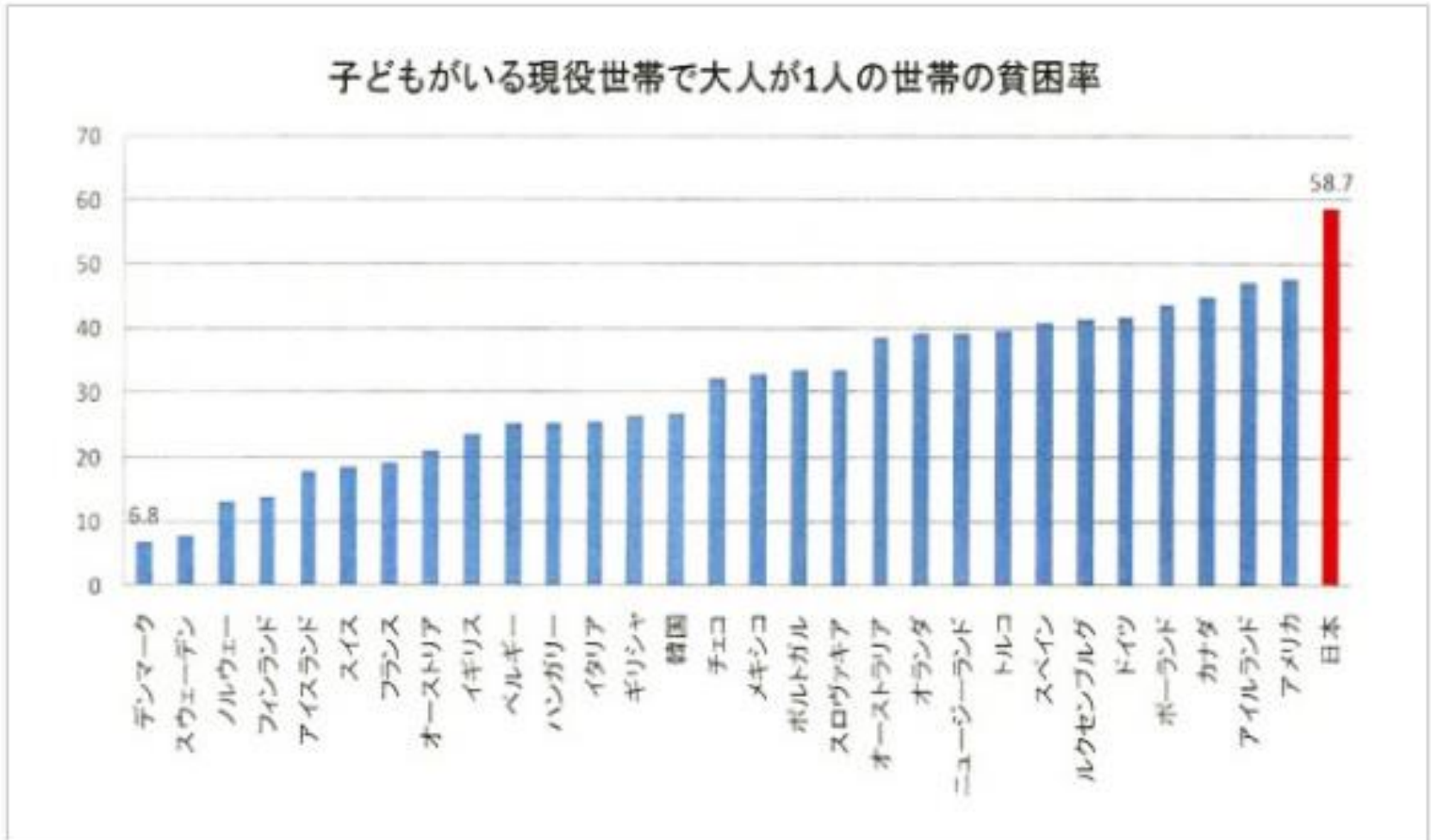
菓子類や調味料が嬉しいです。お菓子は家の経済状況によって買えない時もあるので、宅配で送られてきた時には親子で喜びました。そして食べたことのない高級品も入っていることもあり、そんな時は親も食べたりしています。

いつも節約でおもいきり買物をするのがないので、私も子供もフードバンクからの食品提供はとても嬉しいです。家計の負担の軽減はとても大きいですし、何より、このような取り組みで、助けてくれる方々がいるという事を感じ、孤立感が薄らぐ気がします。

フードバンク TAMA 活動全体像



あなたは気づいていましたか？日本の子どもの貧困率が最悪の水準まで進んでしまっていることを。2016年度厚生労働省の調査では、**子どもの貧困率は13.9%を記録し、日本の子どもの実に7人に1人が貧困状態になっています。**子どもの貧困は、育てる親の低所得や生活困窮が主な原因といわれ、**ひとり親世帯の貧困率は58.7%と先進国の中でも最悪な水準となっています。**



食品ロスの内訳

500～800万トン



家庭

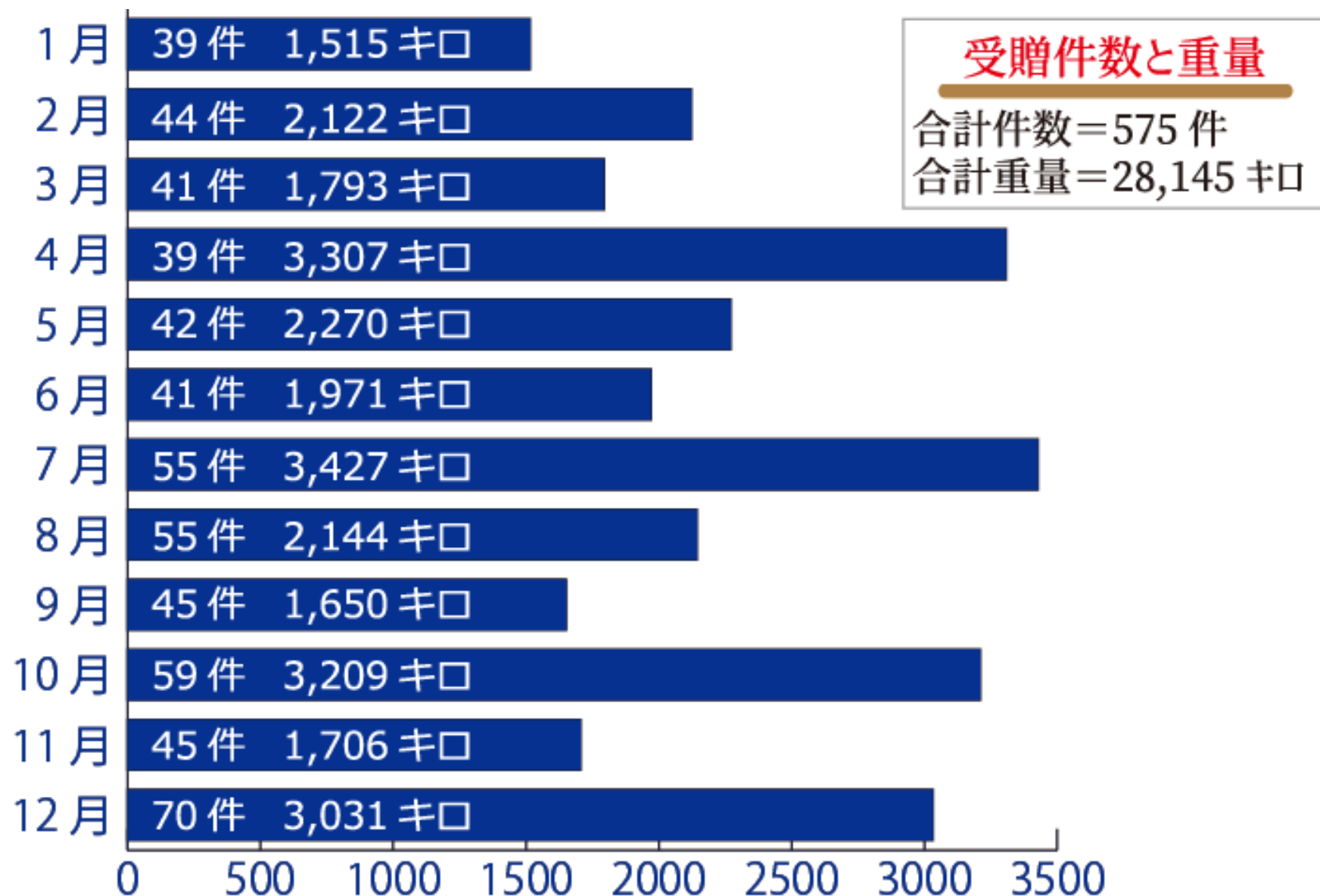
200～400万t



企業

300～400万t

2019.1 ~ 12 受贈実績



各地より届けられる食品（R2.6/1-9）

1. 群馬県の松沢様より食品4キロ、JA東京みなみ様より野菜40キロをいただきました。
(6/1)
2. 森永乳業（株）様より牛乳（200mm）90ケース424キロ、国分寺市の森田様より食品7キロ、京都の（株）大安様より京つけもの7ケース42キロをいただきました。
(6/2)
3. カルビー(株)様よりポテトチップスフルグラ23ケース60キロ、シティスーパージャパン(株)様より食品14キロ、高尾山薬王院様より煎餅10キロをいただきました。(6/3)
4. 多摩友の会様より食品10キロ、三田飲料（株）様よりジュース60ケース800キロをいただきました。(6/4)
5. JA東京みなみ様より野菜15キロ、青森県浪岡の有馬様より米30キロ、ケンちゃん餃子より餃子40キロ、カルビー(株)様より90ケース180キロ、日本合成洗剤(株)様より入浴剤（コープ）30ケース250キロ、甘利香辛食品(株)様より厚ベジ旨カレーフ레이크36キロをいただきました。(6/5)
6. 昭島市環境コミュニティセンター食品15キロをいただきました。(6/6)
7. 日野市社会福祉協議会様より食品・玉ねぎ20キロ、JA東京みなみ様より野菜50キロ、パルシステム東京様より野菜50キロ、立川市の高森様より食品20キロ米20キロ、タッパウェア(株)様より洗剤20キロ、ケンちゃん餃子より餃子30キロ、渋谷区の井坂様より缶詰15キロをいただきました。(6/8)
8. 多摩市社会福祉協議会様より米食品64キロ、大阪府池田市の鈴木様よりお菓子5キロをいただきました。(6/9)

協賛企業一覧

カルビー株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、マルコメ株式会社、丸紅株式会社、五十嵐冷蔵株式会社、いなば食品株式会社、山芳製菓株式会社、イトウ製菓株式会社、有限会社アイグラン、第一環境株式会社、J A東京みなみ、なかざと農園、株式会社ファミリー、高田商事株式会社、サンキョー株式会社、SAP 日野店、株式会社カーブスジャパン、日本建物管理株式会社、株式会社紀ノ国屋、キューピー株式会社、株式会社ダイエー、株式会社協栄、株式会社滝沢建設、ケンちゃん餃子株式会社、日野自動車株式会社労働組合

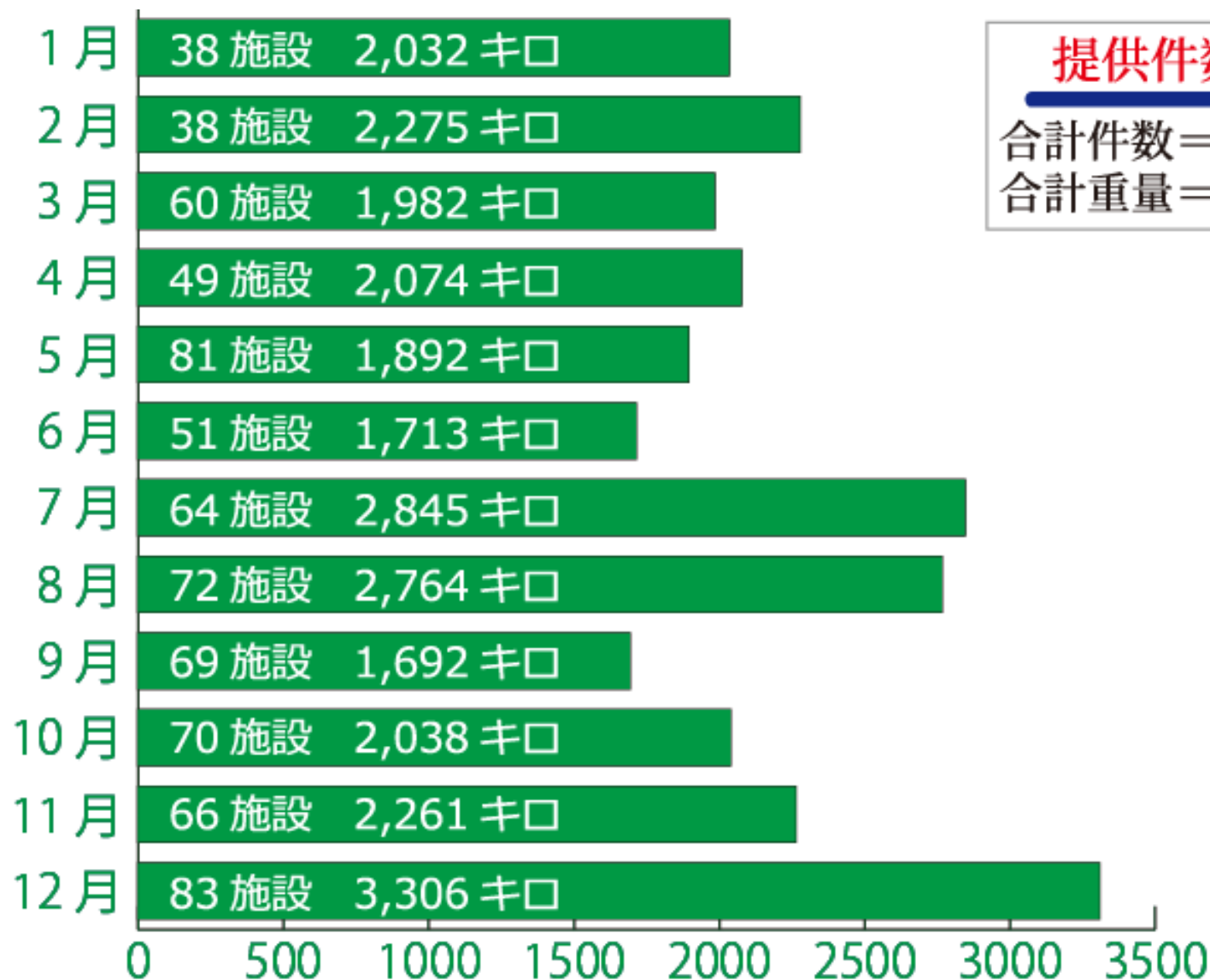


ある食品企業



JR八王子駅

2019.1 ~ 12 提供実績



提供件数と重量

合計件数=741 施設

合計重量=26,874 キロ

児童福祉施設等への寄贈

寄贈いただいた食品は、フードバンク TAMA のスタッフが責任を持って、児童福祉施設や子ども食堂等は無償提供しております。また、受け取る側の各施設・団体には、フードバンクのルール遵守のために「確認書」を結んでいただくことを前提としております。なお、食品のお引き渡しの際には、伝票にサインをいただくことで、配布先・数量等の記録を残すようにしております。

2019.1～12 提供実績

日野・八王子・立川・昭島市等、多摩地域の児童養護施設 4 ケ所、子ども食堂 20 ケ所、学習支援施設 6 ケ所、自立支援施設 5 ケ所、生活支援・母子家庭支援施設等 4 ケ所、発達障がい児童支援施設 2 ケ所、その他の施設（社会福祉協議会等）10 ケ所、合計 51 施設・団体に定期的・安定的に食品を無償提供しております（令和元年 9 月現在）。

自治体では、日野市 13 ケ所、八王子市 12 ケ所、立川市 10 ケ所、昭島市 3 ケ所、町田市 1 ケ所、多摩市 4 ケ所、国立市 1 ケ所、その他 8 ケ所の合計 51 施設・団体に食品を無償提供しております（令和元年 9 月現在）。

寄贈された食品の提供先

日野・八王子・立川・昭島市等、多摩地域の児童養護施設 5 箇所、子ども食堂 12 箇所、学習支援施設 5 箇所、自立支援施設 4 箇所、生活支援・母子家庭支援施設等 5 箇所、子育て支援施設 2 箇所、その他の施設（社会福祉協議会等）7 箇所、合計 40 施設・団体に定期的・安定的に食品を無償提供しております（平成 30 年 3 月現在）。

自治体単位では、日野市 16 箇所、八王子市 14 箇所、立川市 3 箇所、昭島市 4 箇所、町田市 1 箇所、多摩市 1 箇所、国立市 1 箇所の合計 40 施設・団体となっております（平成 30 年 3 月現在）。

また、個々の生活困窮家庭等については、各市の社会福祉協議会と連携した支援を行っております。



フードドライブとは・・・

①**ご家庭で余っている食品**を学校、地域、スーパー、職場などで持ち寄り、それらをまとめてフードバンクにご寄付いただく活動です。

②フードバンクTAMAでは、フードドライブで提供された食品を、主に日野・八王子・立川・昭島市の児童養護施設や子ども食堂等は無償配布をいたします。

③受贈食品の多様性から、フードドライブが児童養護施設等への食品提供の生命線を握っているといっても過言ではない、と実感しております。何とぞご協力をお願いいたします。

フードドライブ：八王子市内（例）



（八王子とうろう流し H30.7）



（八王子ハロウィン実行委 H30.11）



（カーブス南大沢様 H31.2）



（八王子東ロータリークラブ様 H31.11）

日野市フードパントリー活動

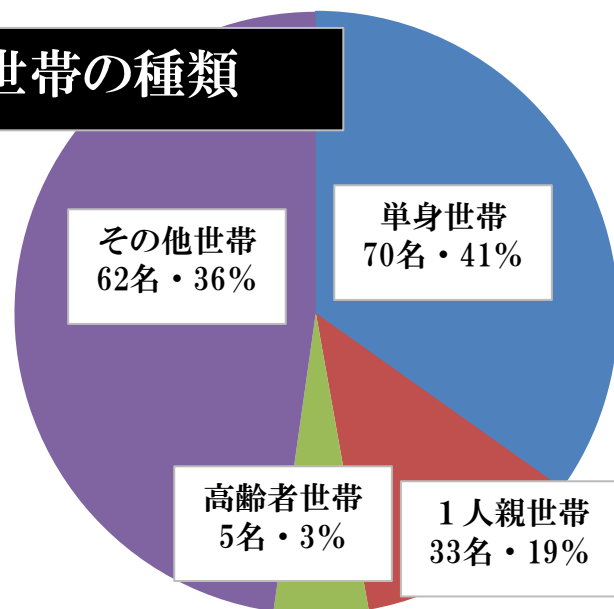
令和元年11月～2年3月の間、経済的困窮により食料支援を必要としている個人・家族に直接、食品を提供するパントリー活動を、日野市や日野市社会福祉協議会などと連携し、実施しています。その目的は、日野市在住のひとり親家庭や失業などの何らかの理由で十分な食事を取ることができない状況の方々を支援します。この活動は、単に食料支援だけではなく、各食品受取施設に来られた方々を、より適切な対応のため日野市の福祉行政の生活相談窓口へ繋ぐ目的があります。



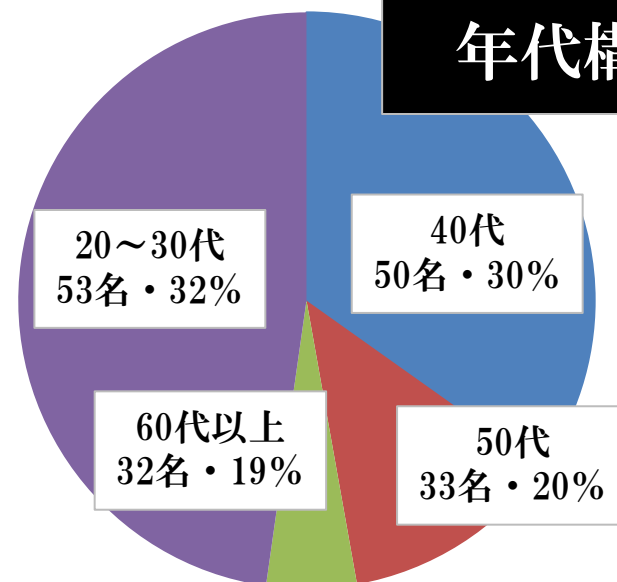
日野市在住のひとり親家庭や失業中の方は、誰でも以下の方法で、食品を詰めたダンボールを受け取ることができます。

パントリーアンケート・5月

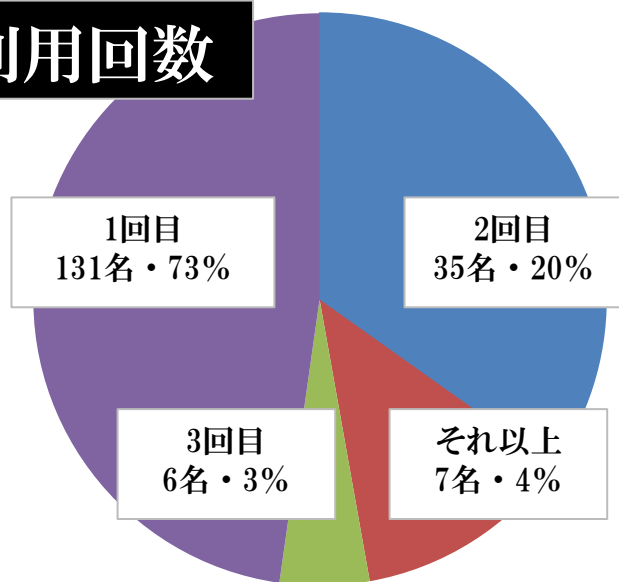
世帯の種類



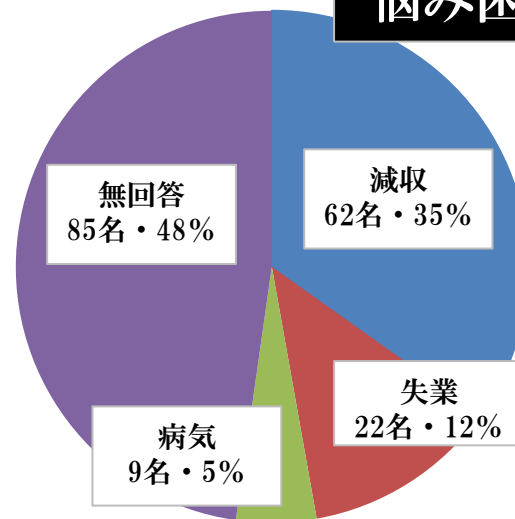
年代構成



利用回数



悩み困りごと



コロナ禍の 支援増大 問題点

■ 受贈

- ① 3月～4月：食品企業や隣接市の給食センター等から大量の寄贈食品
- ② 5月に入り、生産調整に入り、一気に寄贈が減った
- ③ 家庭において自粛生活で冷蔵庫等の整理が始まり、期限切れや開封食品増加

■ 提供

- ① 配達量が著しく増加し、スタッフの負担増加
- ② 3月～6月：子ども食堂の閉鎖があり、食品提供先が減った
- ③ 4月以降、パントリー提供件数が圧倒的に増加